

2026年 8月の活動報告

弊社所在地である江東区の「ごみ発電」・「電力の地産地消」についてご紹介します。

ごみ発電とは？

ごみ発電は、清掃工場でごみを焼却したときに発生する熱を利用して、水を温めて蒸気をつくり、その蒸気でタービンを回して発電する仕組みです。



電力の「地産地消」

「地産地消」とは、地域でつくったものを、その地域で消費することです。

江東区では、区内の清掃工場でごみを焼却する際に発生する熱を利用して電気をつくり、その電気を区内の公共施設で利用しています。区の公式資料では、全区立小・中学校と義務教育学校でごみ発電電力を活用しているとされています。

ごみ → エネルギー → 地域の施設 → 私たちの暮らし、というつながりが見える取り組みです。

ごみで作られる電気の量

江東区の清掃工場では年間約1.4万KWHの電気を発電しています。これは、一般家庭の約4万世帯分の年間使用量に相当します。

発電量の目安(令和5年度)

約 **1.4億 kWh**/年

(江東区の清掃工場2か所の合計)



一般家庭 約 **4万世帯分**

(1世帯あたりの年間使用量を約3,500kWhで計算)

私たちの暮らしとのつながり

ごみを減らす： 買いすぎを減らし、使い切る

正しく分別する：資源とごみをきちんと分ける

3Rを心がける： Reduce・Reuse・Recycle

ごみ発電は、私たちの生活と深くつながっています。家庭や会社から出るごみが、清掃工場で電気に変わり、地域の施設で使われています。そして、私たちがごみを減らし、正しく分別することが、さらなるエネルギーの有効利用と環境の保全につながります。



出典：江東区「公共施設におけるごみ発電（バイオマス発電）の活用について」

	内容	目標	当月実績	達成度合	判定	特記事項
節電	消費電力の削減	2,023.0 kwh/月	1,693.8 kwh	119.4%	達成	
節水	水道使用量削減	7.429 m ³ /月	6.310 m ³	117.7%	達成	
廃棄物処理	可燃ゴミ削減	14.00 Kg/月	10.67 Kg	131.2%	達成	
グリーン購入	グリーン購入品推進	85 %/月	100.0 %	117.6%	達成	
製品・サービス	省エネ省資源化の提案	3 件/月	4 件	133.3%	達成	